

H29 吉田川上流部遊水地事業説明会（第3回） 開催日時・会場

日 時	会 場	備 考
平成 29 年 11 月 14 日 (火) 19 時～	大衡村 衡下集会所 (黒川郡大衡村大衡竹ノ内前 24)	
平成 29 年 11 月 15 日 (水) 19 時～	大和町 蒜袋生活センター (黒川郡大和町落合蒜袋字天王前)	
平成 29 年 11 月 16 日 (木) 19 時～	大和町 舞野文化センター (黒川郡大和町落合舞野字仁和多利 77)	
平成 29 年 11 月 18 日 (土) 18 時～	大和町 町民研修センター 1 階会議室 (黒川郡大和町吉岡字古館 25-1)	

吉田川上流遊水地事業説明会（第3回）

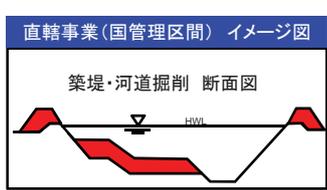
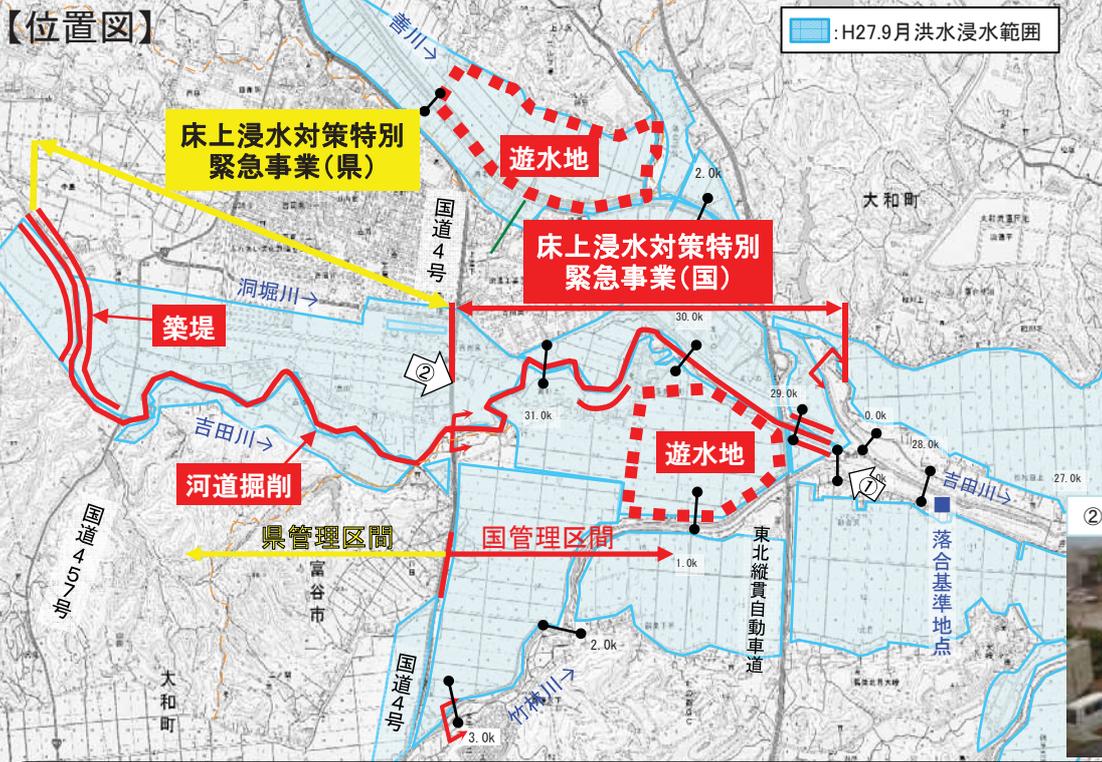
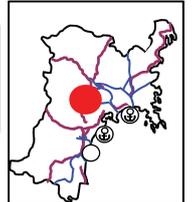
次 第

1. 開 会
2. 出席者紹介
3. 吉田川上流部の河川整備について
 - (1) 事業概要と整備効果について
 - (2) 遊水地の施設計画について
 - (3) 用地調査について
 - (4) 今後の予定について
4. 質疑応答
5. その他
6. 閉 会

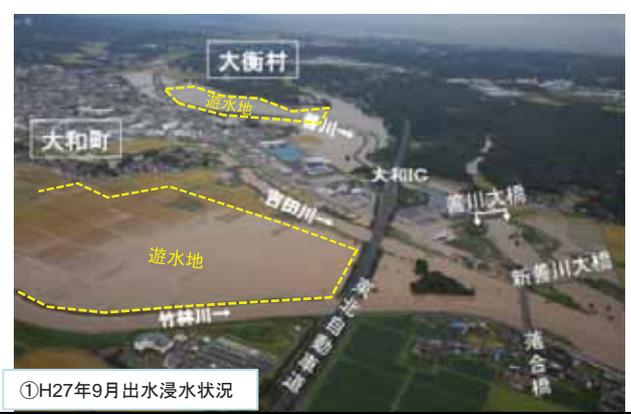
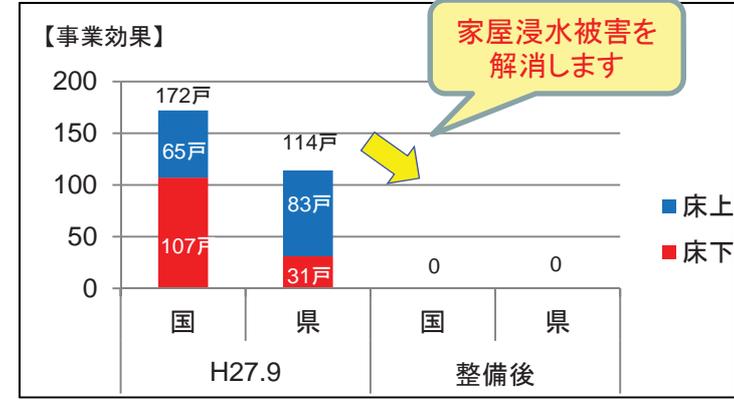
なるせがわ よしだがわ
【直轄】鳴瀬川床上浸水対策特別緊急事業(吉田川) **【H29~H34】**
 よしだがわ
【補助】吉田川床上浸水対策特別緊急事業

新規	宮城県黒川郡大和町、大衡村	河川	直轄・補助
----	---------------	----	-------

【事業の概要】
 平成27年9月関東・東北豪雨により甚大な被害を受けたことから、吉田川上流において、家屋浸水被害の解消を図るため河川改修事業を実施します。



【整備効果】
 河道掘削、築堤、遊水地等の河川改修事業によって、事業完了時に平成27年9月関東・東北豪雨と同等規模の洪水に対して、家屋浸水被害を解消します。



【平成29年度の事業内容】
 直轄:河道掘削を行います。
 補助:河道掘削、護岸工、事業用地の取得を行います。

遊水地ができるまで

1 遊水地の計画

洪水や高潮などの状況を調査し、地域に必要な堤防について計画します。

H28年度



2 計画の説明(土地立入了解)

計画が決まると関係者に説明を行い協力を求めます。

H29.6月



3 測量・地質調査

堤防をつくるために必要な資料の収集・調査・図面の作成を行います。



4 遊水地の設計

測量図面や収集した資料をもとに堤防や水門等の設計を行います。



5 設計の説明

関係する方に堤防の設計について説明を行い、設計について了解をいただきます。

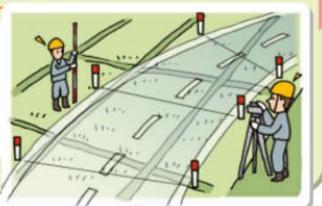
H29.11月



6 用地巾杭設置

設計に基づき堤防工事に必要な用地の範囲を示す杭を打設します。

H29.11月以降



11 遊水地の完成

計画から工事までいろいろな方の協力によって堤防ができあがります。

H34年度まで



10 工事

設計に基づき堤防や水門をつくります。

H30.10月以降



9 工事の説明

工事の方法、期間などの説明を行います。

H30.9月以降



8 土地価格等の説明・契約

地権者の皆様に土地価格等について説明を行い、了解いただいた方には契約締結をお願いします。事業用地を引き渡しいただいた後、補償金の支払いを行います。



7 用地の調査

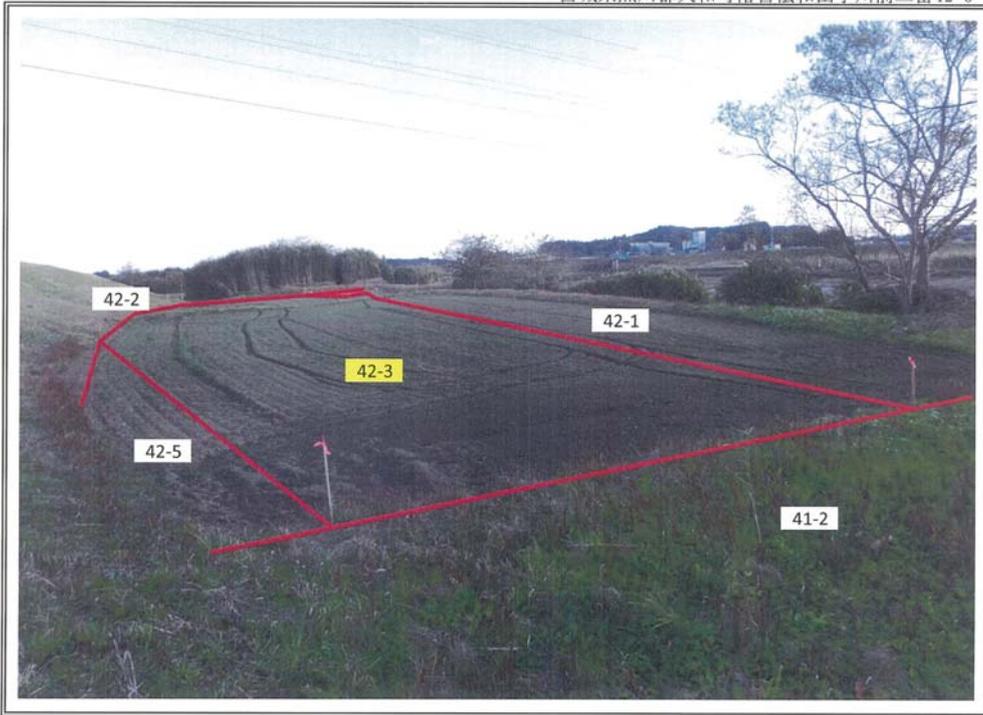
堤防工事に必要な土地等の調査を行います。その際、隣接地との境界確認のため皆様に立ち会いをお願いします。



用地調査

(用地巾杭設置イメージ)

全 景 ①



※ 杭は計測後、支障になる箇所は撤去します。

境界杭写真



遠景
K632
プラスチック杭



遠景
K649
プラスチック杭



遠景
K642
プラスチック杭



近景
K632
プラスチック杭



近景
K649
プラスチック杭



近景
K642
プラスチック杭

よくある質問 遊水地事業 (1)

Q 1. 遊水地の目的は？
A 1. 洪水時に吉田川、善川、竹林川が溢れないようにすることが目的です。 河川水を遊水地に一時的に貯めることにより善川、竹林川の水量を減らすことができ、その結果、善川、竹林川が合流する吉田川の水量を減らすことができます。川の水量が減れば水位も下がり溢れにくくなります。
Q 2. 遊水地の位置の決め方は？
A 2. 地形条件と家屋や公共施設への影響などを考慮して、吉田川、善川、竹林川の三川合流部より上流にしています。 善川及び竹林川と、これらが合流する吉田川が溢れないようにするため、3河川の合流箇所より上流側の善川、竹林川に遊水地を設置する計画としています。善川、竹林川の水量を減らすことにより、3河川とも水位を下げるができるからです。 また、家屋や公共施設への影響が少ない場所を選定しています。
Q 3. 遊水地の大きさの決め方は？
A 3. H27関東・東北豪雨規模の大雨でも吉田川、善川、竹林川が溢れない大きさとしています。 吉田川、善川、竹林川が溢れないように、最も河川の水量が多い時に、善川から毎秒約200立方メートル、竹林川から毎秒約60立方メートルの水を遊水地に貯める計画です。遊水地はこれらの水を貯めることができる大きさとしています。
Q 4. 河川水を遊水地へどのように入れるのか？
A 4. 越流堤を設置します。 「越流堤」と呼ばれるコンクリートあるいはアスファルトで覆った強度の高い堤防を設置します。越流堤は河川水を遊水地に貯めるため周辺の堤防より一段低い高さにします。
Q 5. 遊水地にたまった水はどうするのか？
A 5. 下流端の排水門から洪水後速やかに河川へ排水します。 洪水後に河川の水位が下がったことを確認したら、遊水地下流側の排水門を開けて河川(善川、竹林川)へ排水します。雨の降り方にもよりますが、越水開始から遊水地の排水が終わるまで概ね24時間以内を見込んでいます。
Q 6. 洪水時に川からゴミが入らないか？
A 6. ゴミがこれまでより増えることはありません。 遊水地の建設により河川から水田への流入頻度が減るため、今まで以上にゴミが増えることはありません。 河川から流入したゴミのうち、大きなゴミや流木などは減勢工や地内水路にたまります。また水に浮いたゴミが風などで流され、地内水路や堤防法面、管理用通路などにたまった場合は管理者である国が処理します。

よくある質問 遊水地事業（２）

Q 7. 遊水地内の水田はどうなるのか？

A 7. これまで通り水田として利用できます。

地役権の設定に伴い工作物の設置などに一定の制約が発生しますが、遊水地建設後もこれまでと同様に水田として利用できます。遊水地となっても洪水時を除けば今までと変わりなく営農ができます。

Q 8. 遊水地建設後の用排水路機能は？

A 8. 水路を付け替えます。

遊水地の堤防を築堤した後も従前の用排水機能を確保できるように、水路の付け替えと水門の設置を行います。遊水地建設後もこれまでと同じように用排水路を使うことができます。

Q 9. 遊水地内の水田への出入りは？

A 9. 坂路を設置します。

農道箇所には堤防を乗り越えるための坂路を設置します。また堤防法尻部には管理用通路兼用の農道を設置します。水田への出入りは築堤前と同じように利用することができます。

Q10. 洪水時の遊水地内の安全管理は？

A10. サイレンやスピーカーで避難放送します。

実際の洪水時には、河川管理者が河川や遊水地の巡視を行うとともに、サイレンやスピーカーを利用して避難誘導を放送することを予定しています。避難放送があるときは、遊水地内には立ち入らないようにしてください。

平成29年度 吉田川床上浸水対策特別緊急事業(国施行区間)
 現地立入業者一覧表

H29.11.10現在

調査内容	調査範囲	業務実施者		立入期間 (予定)	備考
		業者名	電話番号		
環境調査	善川周辺、吉田川周辺、 竹林川周辺	(株)建設環境研究所 東北支社	022-292-6012	H29.7~H30.2	
地質調査	(構造物設計業務)	(株)建設技術研究所 東北支社	022-261-6867	H29.8~H30.3	
	善川周辺、竹林川周辺	(株)建設技術センター	022-287-4011	H29.9~H29.11	
測量調査	(遊水地設計業務)	三井共同建設コンサルタント(株) 東北支社	022-225-1167	H29.7~H30.3	
	遊水地予定地	(株)センソクコンサルタント	022-254-6380	H29.9~H29.11	
用地調査	竹林川遊水地予定地	(株)三和技術コンサルタント	0237-55-3535	H29.11~H30.2	
	竹林川遊水地予定地	(株)吉田測量設計	019-635-1815	H29.11~H30.2	
	竹林川遊水地予定地	(株)田村測量設計事務所	023-626-1477	H29.11~H30.2	
	竹林川遊水地予定地	(株)南部測量設計	0197-25-2255	H29.11~H30.2	

